

県立青少年教育施設の再編構想（案）に関する意見の概要と県の考え方

番号	意見区分	意見の概要	意見に対する県の考え方
1	共感	・今回の再編構想（案）で施設周辺の自然（森・海・川・沼）を活かした5施設から4施設への再構築については費用対効果から見ても致し方無い。	今回の再編では、東金青年の家を廃止としておりますが、今後、県内市町村の青少年教育施設とのネットワーク化を図るとともに、魅力的な自然を生かした青少年教育施設への再編を行うことにより、現在の青少年教育の水準の維持や、体験活動の質の向上に努めてまいります。
	体験活動の場の減少	・青少年が集団で宿泊体験をするという、「教養」を学ぶ学校という教育現場では体験できない所謂「修養」を学ぶ場が減るのは非常に残念である。	
2	施設の配置バランス	東金青年の家については是非存続を願う。現在、子供が星空を見る宿泊講座に参加しており、非常に理数に関する興味が広がっている。また、同年代の子供たちと共同生活することにおいても良い刺激を受けている。このような講座は千葉の魅力を知り、将来の県を担う人材育成に繋がると感じている。他の青少年の家は利用するには遠いことから、県内分布の良い青年の家の配置をお願いしたい。	番号1と同じ
3	体験活動の場の減少	千葉県立東金青年の家で「星空の神秘を探ろう」等の講座に子どもが参加している。宇宙についてや星座について学ぶ機会があり、普段知り合えない子ども達と交流ができる。安全な場所で子ども達がのびのびと活動、勉強、成長できる大変良い施設。子ども達のためにも存続を希望する。	番号1と同じ
4	正確な情報提供	全体的に各データに必要な情報に偏りがあり、これだけの情報では判断材料が足りないという印象を受ける。県民が公平な判断ができるよう、正確な情報提供が必要。	今回の構想案は、施設利用者の推移や割合、県内の年少人口の減少推移、維持管理経費の変遷データの他、千葉県を代表する魅力的な自然を生かした青少年教育施設とするため、総合的に検討してまいりました。
5	体験活動の場の減少	東金青年の家は他の施設と比べても、バランスのとれた場所にある。 廃止となると子供達の体験の場が多く失われる。 多くの子供達の体験の場として、東金青年の家の存続を希望する。	番号1と同じ
6	体験活動の場の減少	市外のミニバスケットチームとの交流を深めるための場、合宿の場として使用している。 他支部のチームとの練習試合や合同練習をすることで、バスケットボールだけでなく色々な角度から子供たちを育成することができる。 子供たちの活動の場として、東金青年の家を残してほしい。	番号1と同じ
7	施設の配置バランス	施設の老朽化が進む事は予見できたはずである。 東金青年の家は県内利用者が多く、古いながらも良好に使用できている、東上総地域唯一の施設である。なぜ、県の端を残し、中心部の東金を老朽と言うだけで廃止にするのか。 東金青年の家を存続してほしい。	番号1と同じ

番号	意見区分	意見の概要	意見に対する県の考え方
8	施設の配置バランス	県立東金青年の家は、ボーイスカウト活動を展開している市民にとって、プログラムを展開できる最適な場所である。 廃止撤回及び利用可能な施設としての継続を願う。	番号1と同じ
9	施設の配置バランス	東金青年の家を廃止する本構想案に反対する。 ・東金青年の家がなくなり、4施設となった場合、千葉県北部と南部だけとなり施設配置バランスが悪く、4つの自然に特化しても、利用側にとって実活用でメリットがない。 県民利用は最も多い状況であり、主催事業が充実している。	番号1と同じ
	施設名称	・施設名称を青少年自然の家とするそうだが、青少年交流の家、青少年ふれあいプラザなどの名称のほうが良いのではないかと。	施設の名前については、設置目的を青少年の健全な育成を図るよう一元化する構想のもと、千葉県の豊かな自然環境を生かした体験活動を行う県立青少年教育施設として、県民が親しみやすいものになるように検討します。
	料金設定	・青年の基準を明確にし、宿泊料金、施設使用料金を細かく設定し、県外者の利用料金・青少年以外の成人利用についても、料金設定すべきと思う。	使用料については、条例に基づき金額を設定しております。一般と児童生徒等に料金が分かれており、一般とは18歳以上の者（高等学校の生徒及びこれに相当するものとして知事が定める者を除く。）をいいます。児童生徒等とは小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒並びにこれらに相当するものとして知事が定める者並びに幼児（独立して寝具を使用する場合に限る。）をいいます。なお、県内・県外者の利用料金設定については、他県の状況を見ながら、研究してまいります。
10	施設の配置バランス	・市町村青少年教育施設の分布状況を見る限りでは、北総地区及び南総地区に施設が集中しており、東総地区には施設が少ない。地域格差が生じるため、現構想案については再検討が必要であると考えます。	番号1と同じ
	その他	・大網白里市に宿泊ありの青少年施設がマーキングされているが、実際にあるのか。具体的な施設名を示してほしい。	大網白里市に宿泊ありの施設はございません。マーキングの位置を調整します。
11	施設の配置バランス	県立施設を5施設から4施設に再編成し、それぞれ特色ある事業展開を行うことを基本とするようだが、千葉県を代表する魅力的な自然として（森、海、川、沼）をあげられているが、その中には千葉県を代表する九十九里浜の記載がない。 この再編案のとおりを実施された場合、千葉県の北総地区に2施設、南総地区に2施設となり、東総地区には青少年教育施設が無くなってしまふ。是非、再検討をお願いする。	番号1と同じ
12	体験活動の場の減少	海にかこまれ里山、田畑広がる自然と各地にその自然体験ができる施設があることは千葉県としてのほこりである。これからのことを考えた時、子どもが減り、少子化だからこそ今まで以上に必要となるであろうし、ますます人と人との関係がうすれ自然からかけ離れた生活をする中で育つ子どもたちに必要となる場である。これ以上、自然体験の場をへらさないでほしい。	番号1と同じ

番号	意見区分	意見の概要	意見に対する県の考え方
13	準備期間の確保	<p>青少年教育施設東金青年の家を廃止しないでほしい。</p> <p>廃止するまであと5年の猶予をぜひお願いしたい。</p> <p>廃止は時間をかけて進めていただきたい。</p>	<p>魅力的なプログラムの開発や他の市町村施設とのネットワークの強化には一定の準備期間が必要であり、また、利用者に周知する十分な期間も必要となります。そこで、東金青年の家は次期指定管理期間の満了時（令和7年度末）をもって廃止することとし、県ホームページ等により、周知してまいります。</p>
14	体験活動の場の減少	<p>規律ある団体行動を経験する場として、貴重な施設だと認識している。</p> <p>近年では利用人数が増加しており、地域的にも利用者の認知が広まり、ニーズにしている施設である。</p> <p>近辺のスポーツ施設と連携すれば、更なる利用人数増加も可能と思われる。</p> <p>現状の改善度合いも含めて検討を進めて頂きたい。</p>	番号1と同じ
15	施設の配置バランス	<p>東金青年の家が廃止になると、千葉県の中央あたりに位置する上総地区の県立青少年教育施設がなくなる。子供たちが主体的に物事を考える育成も担っており、ハード面の施設の事だけでなく、ソフト面でも青年の家は重要な役割を持つ大切な施設である。東金青年の家の廃止は上総地区の子供達の大きな損失。今一度ご検討をお願いしたい。</p>	番号1と同じ
16	その他	<p>・県立青少年教育施設については主に行政改革の中で審議された印象があり、教育委員会としての検討内容が判然としない。</p>	<p>県教育委員会では、県生涯学習審議会に諮問し、各施設の特徴を生かした事業、利用実態、宿泊施設としての構造、年少人口の減少、地域とのつながりなどの視点から4回の審議をいただいた上で、新たな時代の施設の在り方を示す「県立青少年教育施設の再編構想（案）」を策定しました。</p>
	その他	<p>・生涯学習審議会における審議内容、事務局からの資料説明等を明確にする必要があると考える。</p>	<p>審議内容及び資料は、県ホームページに公開しております。</p>
17	施設の配置バランス	<p>・市町村青少年教育施設の分布状況を見ると、県北部及び南部に施設が集中しており、東総地区には青少年教育施設が少ない。県教育委員会としてはこの状況をどのように考えているのか。宿泊施設のある市町村青少年教育施設が一覧として掲載しているが、県立施設の補完ができる施設、運営がおこなわれているのか。具体的な利用状況についても周知すべきではないか。県内青少年教育施設の地域バランスを考えた場合には東総地区に施設を残すべきである。</p>	番号1と同じ
	施設名称 その他	<p>東金青年の家が廃止になることは、大変残念である。以下について、提案したい。</p> <p>・廃止になった際の職員の人事について 本人の希望があった場合、廃止にならない施設に配属していただけるように検討を願う。</p> <p>・魅力的な自然の中の「川」について 「川」のみが残るのではなく、「空」の分野も強化して残せないでしょうか？</p> <p>・各施設の名称について 現状の施設名のままでよいと思う。施設名は現状のままで、施設の設置目的のみを変更するかどうか。</p> <p>・他の施設に求められることについて より質の高い自然体験活動を行うためにも、指定管理団体の職員のみでなく、教員免許やNEALや自然体験分野などの資格保持者を各施設の職員に配属できるとよいと思う。</p> <p>・6年後に行われる選定について より公平に事業を展開し、千葉県のために尽くせる団体であること。そこで働く職員に対する温度差が生じない4つの団体を選定されることを強く願います。</p>	<p>施設の名称については、設置目的を青少年の健全な育成を図るよう一元化する構想のもと、千葉県の豊かな自然環境を生かした体験活動を行う県立青少年教育施設として、県民が親しみやすいものになるように検討します。</p> <p>番号1と同じ</p>

番号	意見区分	意見の概要	意見に対する県の考え方
18	施設の配置バランス	現在、県立青少年教育施設は、千葉県中央部には東金青年の家しかない。東金青年の家を令和7年度以降も是非存続することを強く希望する。	番号1と同じ
19	体験活動の場の減少	毎年、合宿等で、東金青年の家を利用している。交通の利便性が良く体育施設としても充実しており、手頃な利用料金で利用できる貴重な施設。 年少人口が減少している事もあるが、子供たちの周りの環境が縮小されていく中、スポーツに特色を見出せる施設であり、老朽化が進んでいるとはいえ、日頃から整備されておりまだまだ十分に活用出来る。 是非とも東金青年の家の存続をお願いしたい。	番号1と同じ
20	施設の配置バランス	結論として、県教委自らが青少年教育を否定することは認められない。行革委員会と対決すべき。東金青年の家は残すべき施設。計画的に改修すること。4施設とするならば、交通の便、県内利用の人数、代替え施設がある、東金の次に古い君津亀山少年自然の家の廃止を考えるべき。このほうが4施設の連携及び施設の配置バランスが良い。なお、東金青年の家はかなり手が入っており、まだまだ利用は可能である。	番号1と同じ
21	その他	市町村青少年教育施設との連携だけでなく、各施設が立地している市町村の施設との連携や民間事業者との一体的な利活用についても記載があると連携の幅も広がるものと考えられる。	番号1と同じ
22	その他	施設数を減らす分、人員を増やしてサービスが行き届くようにする。	番号1と同じ
23	準備期間の確保	・東金青年の家の再編の具体的な工程とスケジュールが確定し次第、周知をお願いしたい。再編により使用施設の変更や検討が必要なため、再編内容の確定から実施までの周知及び準備に必要な期間を十分に設けてほしい。	魅力的なプログラムの開発や他の市町村施設とのネットワークの強化には一定の準備期間が必要であり、また、利用者に周知する十分な期間も必要となります。そこで、東金青年の家は次期指定管理期間の満了時（令和7年度末）をもって廃止することとし、県ホームページ等により、周知してまいります。
	料金設定	・近隣市町に県立青少年教育施設がない地域にも、再編後の施設の使用料について公平な設定をお願いしたい。	
24	共感	・青少年教育施設の老朽化や年少人口に伴う利用者の減少に対して措置をすることについては一定の理解は示す。	番号1と同じ
	施設の配置バランス	・今回の計画で施設がなくなる千葉県東部において、青少年教育施設を失うことはこの地域の青少年教育活動の機軸を失うこととなる。本地域の更なる衰退の要因になりかねないと考えるとともに、基礎自治体力の弱い地域だからこそ、県による支えが必要だと考える。施設の再構築について原案の再考をいただきたくお願いしたい。	

